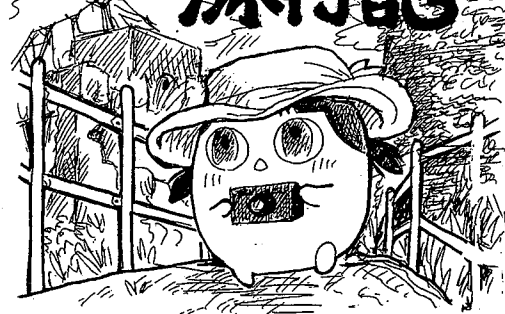


# 島艦軍 旅行記



先月1面にて紹介した『軍艦島入門』(黒沢永紀/実業  
日本社、1944円)を持って、長崎の端島・通称軍艦島まで  
行って来ました。やはり、紹介したからには自分でも行ってみたい  
と...!と思い始めたら、もうど——しも行きたくなってしまっ  
て...。新幹線の中へ『軍艦島入門』を読んで準備完了!!

↓日本で最も古い鉄筋コンクリート建築、30号棟(大正5年~)。  
ガイドさんのひとりが「多分の頃ここに住んでいた」と言われて  
いました。昔自分が住んでいた所をガイドするなんて、スゴイ~。  
歴史を感じまわね。ここで



灰色&  
緑の  
不思議な  
島といた。

↑上陸出来るのは島のほんの一部、というのを知っ  
てはいましたが、いざ行ってみると本当~に一部  
しかないことを実感。景色を遠目に眺めながら、  
「あ~あをこ行ってみたい~」と妄想?想像?  
しまっ。どのメディア、本でも良いので、短い時間を  
フルに楽しむために、絶対予習必要。あ、という間に離島だ。名残惜しい...

## 新刊

▼文芸『掬上今日の挑戦状』西尾維新/講談社、1,350円(8月18日発売予定)/  
10月より、日本テレビ系列にて、新垣結衣主演で連続ドラマ化決定!寝ると記憶がリセットされ  
る「忘却探偵」掬上今日子が、依頼人から持ち込まれる事件を1日で解決へと導いていく。「忘却  
探偵シリーズ」最新刊。忘却探偵が殺人事件の証人となる「掬上今日のプライベート証言」ほか、  
衆人環視の密室、死者からの暗号の謎に挑む。▼芸術『別冊太陽 錦絵春画』早川聞多監修/平  
凡社、2808円(8月25日発売予定)華やかな錦絵を創り出した鈴木春信を筆頭に、磯田湖龍齋、鳥居清長、  
勝川春潮、喜多川歌麿、葛飾北斎、溪斎英泉、歌川豊国、歌川国貞、歌川国芳ら日本を代表する絵師10  
人による愛蔵版・春画名品撰。▼実用『まっぴるマガジン・はじめてのお遍路』昭文社編集部・編/  
昭文社(8月26日発売予定)初心者にもやさしい四国八十八ヶ所めぐり案内。わかやあいれ所案内やウソ  
のほか、四国ご当地の観光、グルメなど寄り道情報も掲載し、週末を利用していくお遍路さんのニーズに対応し  
た一冊となっています。その他、秋の旅行シーズンに向けた観光ガイド多数発売予定。▼ビジネス『会社四季  
報・業界地図2016年版』東洋経済新報社・編/東洋経済新報社、1,296円(8月31日発売予定)国内外の業界  
最新情報を、創刊30年余年の伝統を有する『会社四季報』記者が徹底解説。全ビジネスパーソン、投資家、就  
活者の必読書です。

**OTZIO**  
岡山店(ドレミの街5F) 10:00~20:00 / 電話 086-234-6006 / ファックス 086-234-6003  
X-IV hselva@po.harenet.ne.jp / ホムレージ http://www.e-hon.ne.jp/SHOP72050  
西口店(奉還町商店街内) 9:30~18:00 日曜休 / 電話 086-250-4301  
ファックス 086-250-4316 / ホムレージ http://www.e-hon.ne.jp/SHOP72059  
さんあて岡山店 8:00~20:00 / 電話-ファックス 086-803-2650 / X-IV pselva@po.harenet.ne.jp

今日の特集は、  
『戦後70年』。  
ニホからの、  
平和のために。

# MONTHLY SELVA

マンスリセルバ 2015年8月 第110号\*

Since 2006 04  
SELVA



文藝春秋  
一、二九六円

火花賞

又吉直樹



お笑いコンビ「ピース」の又吉直樹・初の純文学  
作品にして、第153回芥川龍之介賞受賞作。この猛暑に負  
けず劣らず、今、一番「熱い」一冊です。  
...売れないお笑い芸人・徳永が、幻のように鮮やかな火花の下で誰も見  
向きもしない漫才のステージに立ったその夜、彼は天才・神谷と運命的な出  
会いを果たす。「弟子にして下さい」と頭を下げた。心の底から溢れた言葉だった。  
徳永に神谷が出た条件はひとつ。「俺のそばを近く見て、俺の行動を書き残して、  
俺の伝記を作れ」...こうして、徳永と神谷の奇妙な師弟関係が始まった。  
一切ぶれぬに自分のスタイルを全うする神谷への憧れ。無防備なまでに純真な神谷への嫉妬。しかし、人の評価  
を気にしないということ、負けても負けていないと頑なに信じる愚かさと何が違うのか。徳永は神谷のお笑い哲学に  
心酔しながらも、やがて別の道を選ぶことに——。笑いは、生きるとは何か。理想にのみ生きる男と、現  
実しか生きられない男が、命を燃やせやうにして不器用にも輝いた一瞬一瞬を切り取った話題作。

# 戦後70年

1945年8月15日。太平洋戦争の終結から、今年で70年の節目を迎えるこの夏、店頭では「戦争や平和、歴史について考える」小説、インフィクション等、関連書籍を多数取り揃えました。

## トンネルの森 1945

角野栄子/角川書店 1,296円

1945年。少女はたまたひとり世界と戦っていた。太平洋戦争のさなか、幼くして母を失ったイコは新しい母親になじめぬまま、生まれたばかりの弟と三人で東京から千葉の小さな村へ疎開することに。大好きな父とも祖母とも離ればなれの生活。でも、「こんなご時世」だから、好きとか、嫌いとか、そんなことは言えない。言葉にならない涙を澄んだ目に抱えながら、イコの新しい生活がはじまった。ある日、家のそばにある暗く大きな森の中で、脱走兵が自殺して二尊を手にする。おっかない森。もう着ることのないきれいな着物を売って、食べ物と交換ある暮らし。そして



次々と入る死の知らせ。誰にも本音を話せず、ひとり葛藤するイコ。「我慢はいい。ご時世だから。でも、このご時世はいつ終わるの？」耐え難い孤独感と飢餓はトンネルの森のように覆いわたる。イコの心を押しつぶす。そして、イコは兵隊の影を追いかけるように、暗く寂しい森へ――。  
『魔女の宅急便』の角野栄子が、自らの戦争体験から描き下した珠玉の物語。友達の父の戦死、家族の最期、遠く離れた地に落とされた特殊爆弾。イコはそれらを直接目には見ない。でも、確かに「私」と繋がっていた。そして、「今」にも...

## 落日燃ゆ

城山三郎/新潮文庫 767円

東京裁判で絞首刑を宣告された七人のA級戦犯のうち、ただ一人の文官であった元総理、外相・広田弘毅。戦争防止に努めながら、その努力に水をさした軍人たちと共に処刑されるという運命に直面したその人生の軌跡は、同時代に生きた数千万の国民の運命にかかわってくる。国命は運命に巻き込まれた。だが、当の広田もまた、巻き込まれまいとして、不本意に巻き添えにされた男の一人に他ならなかった――。

若かりし日に師と仰いだ山岡次郎の「外交官は自分の行、たことで後の人に判断してもらう。それについて弁解めいたことはしないものだ」という教訓が広田の人生に大きな影響を与えた。彼は日記を書かなかった。A級戦犯として死に直面してもなお、何も語らず、全てを受け入れた。その生涯を激動の昭和史と重ねながら克明にたどった伝記小説。毎年恒例の「新潮文庫の100冊」フェア、今年はこの『落日燃ゆ』も「考える本」として100冊のうちの1冊に選ばれている。満州事変、国際連盟脱退、二二六事件、日中開戦、そして太平洋戦争へ...あまりにも希望のない破滅への道を、外交官として、また政治家として進む広田の姿は、(結果論だが)外務省同期の吉田茂とはあまりにも明暗対照的。もし、広田が生きのびていたら、日本はどんな国になっていたのだろうか、そんなことを考えしめる戦後。そう、歴史を描いた小説というのは、読んでいる間とか「結末を知っているが故のやるせない」から逃れられないもので、この作品も例外ではない。特に、老いても相思相愛であった妻・静子との数々のエピソードは、それが日常的で、心温まるものであればあるほど涙を誘う。戦犯もまた夫であり、父であった。毎日出版文化賞、吉川英治文学賞受賞作。

こちらは第一次世界大戦を描いたインフィクション。

## 八月の砲声 (上下)

バーバラ・W・タックマン/ちくま学芸文庫 各1,620円

1914年6月28日、サラエヴォに響いた一発の銃声がヨーロッパに戦火を呼び込んだ。網の目のような条約で相互に結ばれた各国指導者たちは、開戦準備に奔走する一方で戦争回避の道を探るが、戦火は瞬く間に拡大。情報の混乱、指導者たちの誤算と過信...予測不能の状況の中で、軍の用意した戦術だけが「規定方針」として着々と実行され、世界は泥沼に沈んでいった――第一次世界大戦、勃発。戦争の世紀とも言われた20世紀のはじめに、政治・外交・軍事で何がどう決定され、何が決定されなかったのか。「わたしは「なぜ(Why)」を問う歴史家グループにはなれて、「どのようにして(How)」を問題にするグループに属している。わたしは仰々しい説明よりも、小さな事柄を探求したい。哲学者であるよりは、語り手でありたい」という著者が、天候の状態、思念、感情、公的・私的な立場での精神状態の描写について全て裏付けを取って挑み、ピュリッツァー賞に輝いた戦争インフィクションの傑作。



セブンイレブン岡山店&さんおて岡山店にて実施中!  
プレミアム付き商品券ご利用で  
セブンポイントカードの  
ポイント2倍進呈中!

## セブンイレブン Ranking 201508

1. 火花 又吉直樹/文藝春秋 1,296円
2. 流 東山彰良/講談社 1,728円
3. 家族という病 下重暁子/幻冬舎 842円
4. 中国大減速の末路 長谷川慶太郎/東洋経済新報社 1,620円
5. 教団X 中村文則/集英社 1,944円
6. 松岡修造の人生を強く生きる83の言葉 松岡修造/アスコム 1,080円
7. 百歳の力 篠田桃紅/集英社 756円
8. ラプラスの魔女 東野圭吾/角川書店 1,814円
9. 斎藤一人・世界一ものすごい成功法則 斎藤一人/マキ出版 1,620円
10. あの家に暮らす四人の女 三浦しほり/中央公論新社 1,620円

- 文庫
1. 母性 漆かほえ/新潮社 637円
  2. ジャイロスコープ 伊坂幸太郎/新潮社 594円
  3. 意次/毒 居眠り磐音江戸双紙49 佐伯泰英/双葉社 700円
  4. カレイドスコープの箱庭 海堂尊/宝島社 702円
  5. とまぐすり 畠中恵/文藝春秋 637円
  6. 艦隊これくしょん-艦これ- 艦娘型録 携行型 2014年版 「艦これ」運営鎮守府/角川書店 994円